



財団法人 大学基準協会

Japanese University Accreditation Association

〒162 東京都新宿区市谷砂土原町2-7-13 TEL:03(5228)2020 FAX:03(5228)2323



大基委相第111号

平成11年3月18日

大阪歯科大学

学長 佐川 寛典 殿

財団法人 大学基準協会

会長 鳥居 泰彦



貴大学の相互評価の認定に関する件について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、貴大学の相互評価認定に関する件につきましては、本協会の相互評価委員会において慎重審議の結果、貴大学は、「大学基準」に適合しているものとして、「相互評価の認定を行うことが適当である」旨の評価結果が下され、かつ、評議員会および理事会において、同評価結果が満場一致をもって承認されましたのでご通知いたします。

また、相互評価委員会におきまして、相互評価認定を行った大学の一層の充実向上を期待するため、「別紙」のとおり助言、勧告、もしくは参考意見を付することが適当であるとの結論に達しましたので、その点もよろしくご高配下さいますようお願いいたします。

本来、維持会員は、勧告等の有無にかかわらず、自らの大学の掲げる理念・目的を達成するために、自主的かつ恒常的にその質的水準の向上を期して努力すべきはいうまでもありません。このたび「勧告」あるいは問題点の指摘に関する「助言」の付せられた大学におかれましては、別紙の「勧告」の趣旨に添った対応策を講じられるとともに、「助言」の趣旨も可能な範囲で参酌され、その改善実施の概況に関して「改善報告書」をお取りまとめの上、平成14年7月末日までに本協会会長宛にご提出願うこととなっております。

なお、貴大学の相互評価認定年月日は、平成11年3月18日付となりますので、何とぞご承引下さいますようお願いいたします。

敬 具

添付資料

「大阪歯科大学に対する助言・勧告」

## 大阪歯科大学に対する助言・勧告

### I 概 評

歯学部中心の単科大学としての特徴を生かし、学部及び大学院の理念・目的達成への積極的な姿勢がみられ、6年間の一貫教育を通じて歯科医師あるいは歯科医学研究のプロフェッショナルの育成とともに、施設・設備の一新を図り、歯学教育の刷新と地域医療への貢献が企図されていることは高く評価できる。また、教員組織の整備・充実が図られ、大学院においては任期制とともに研究業績による教員の評価が実施され活性化が図られている点は特筆できる。

一般に、歯学教育には詰め込み型教育の傾向が強いので、今後さらに理念・目的を反映した自主性の尊重や自己成長のできる教育環境を設定し、学生の自主的学習意欲を促進するための努力が一層期待される。施設的には充分整備されているように見受けられるので、人的組織や運用機構の仕組みに活性を与えることによってその成果の実ることが期待される。

なお、今回の貴大学の自己点検・評価の結果並びに本協会の相互評価の結果に対し、全学的・組織的に対処し、教育研究のさらなる改善に結びつけることが望まれる。

### II 大学に対する提言

#### 一、助 言

##### ① 長所の指摘に関わるもの

- 1 教育目標を新時代に向けて設定し、附属病院、学舎を新築して、歯学教育の一層の充実にに向けて努力している点は評価できる。
- 2 理念・目的に沿った教育研究を遂行する上で必要な教員組織及び支援組織がよく整備されている点は評価できる。
- 3 外国語教育を高学年まで持続して国際性の基礎教育の充実が図られている点、体育実技重視による保健教育の強化、歯学情報処理教育を取り入れている点は評価できる。
- 4 学年指導教授や助言教員を配置し、学生指導体制が確立されている点は評価できる。
- 5 大学院において学位が適切な条件で授与され、また教育研究指導のあり方の改善に努力している点は評価できる。
- 6 同窓及び地域歯科医師に対する生涯学習の実践、卒後研修が長年にわたって実施されている点は評価できる。また、新病院の機能が、卒後研修生の教育に活用できるよう余裕を持って設計されている点は評価できる。
- 7 ハイテクリサーチセンターの新設を含む研究施設・設備の充実が図られ、また

今後とも学習内容や方法等について工夫することが大切である。

- 8 大学院教員が2年任期というのは、大学院学生の在籍年数4年に比べて短かすぎて、運用に支障が生じることのないよう配慮が望まれる。